

NPR

第125期 中間報告書

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日

Contents

株主の皆様へ

特集 新社長インタビュー

セグメント別事業概要

連結財務諸表

会社情報



日本ピストンリング株式会社

証券コード：6461



代表取締役社長 高橋 輝夫

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当グループ2021年3月期中間期の事業概要等についてご報告申し上げます。

当中間期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、減速を余儀なくされました。我が国におきましては、緊急事態宣言が解除され、経済活動の回復に向けて動き始めましたが、感染の再拡大により、不安定な経済情勢となりました。また、海外におきましては、経済活動の再開が段階的に進められましたが、感染拡大が続き、景気は引き続き厳しい状況となりました。

このような厳しい環境の中ではありますが、当グループは持続的な成長を図るため、2021年3月期を最終年度とした第七次中期経営計画にて『変化に強いモノづくり』による企業価値の向上～マーケティング&イノベーションによる100年企業の土台作り～』を基本方針とし、事業基盤の拡充による企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当中間期の業績についての概要

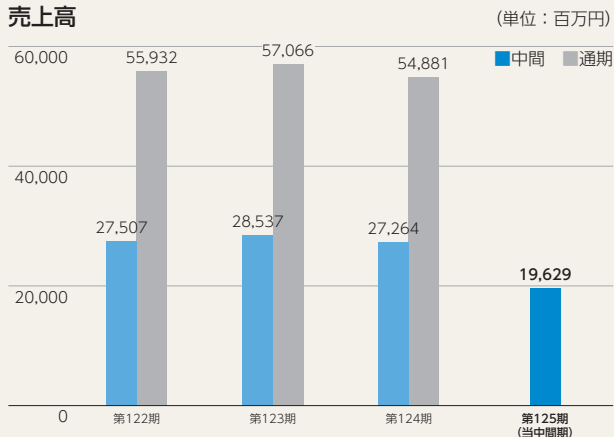
当グループが関連する自動車業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による需要減少の影響等により、世界の自動車生産台数は大幅に減少しました。

このような状況の中、当グループは自動車メーカーの各国での操業停止や減産等により、売上高は196億29百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

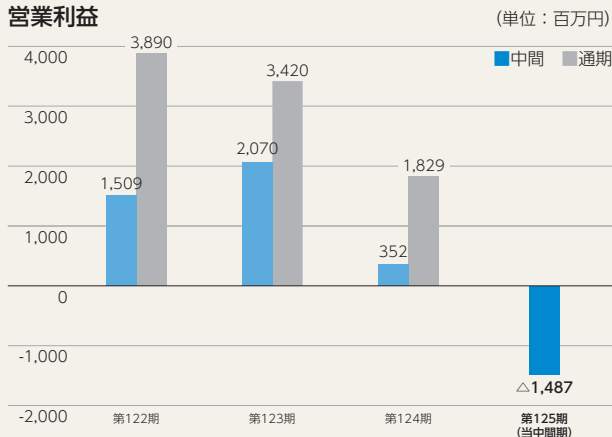
損益面におきましては、原価低減を引き続き推し進めるとともに、稼働調整や固定費削減等の対応を行ってまいりましたが、減産の影響は大きく、営業損失は14億87百万円（前年同期は営業利益3億52百万円）、経常損失は12億49百万円（前年同期は経常利益3億39百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は19億44百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益41百万円）となりました。

■ 決算ハイライト

売上高



営業利益



通期の見通しについて

世界経済の先行きにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、各種政策の効果や需要の回復等により、持ち直しの動きが見込まれます。

2020年度通期見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大後、他の国・地域に先駆けて経済活動を再開した中国等において需要が回復してきたことや生産性の改善、固定費削減の効果等により、売上高、利益ともに前回発表の予想値を上回る見込みとなり、売上高435億円、営業損失14億円、経常損失10億円、親会社株主に帰属する当期純損失20億円を予想しております。

今後の事業展開について

当グループは持続的な成長をはかるため、2021年3月期を最終年度とした第七次中期経営計画に取り組んでおりますが、当グループを取り巻く環境は大きく変化しており、この事業環境の回復にはしばらく時間がかかるものと考えられます。短期的には減産影響の極小化を図るとともに、中長期的には市場動向や客先ニーズに迅速に対応した販売活動の展開や革新的モノづくりによる原価低減を強力に押し進め、収益力の改善に努めてまいります。

【基本方針】

「変化に強いモノづくり」による企業価値の向上
～マーケティング&イノベーションによる
100年企業の土台作り～

【重点施策】

- (1) 国内外での技術提案型営業の強化
- (2) 革新的モノづくりの追究
- (3) 新製品開発の強化
- (4) 人材育成強化による「世界最高品質の追求」
- (5) CSR活動の継続的推進

配当について

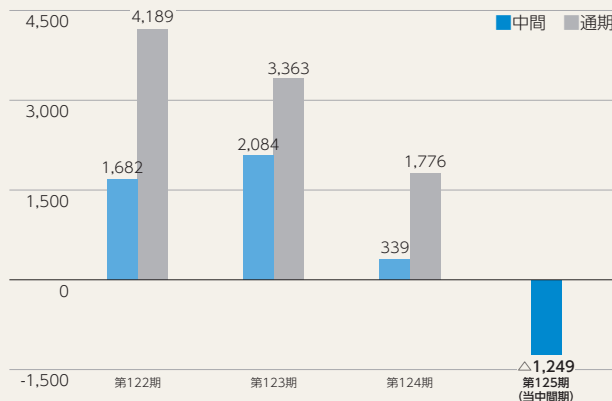
配当につきましては、業績を踏まえた適切かつ安定的な利益配分を行うことを経営の重要政策の一つと位置づけておりますが、当期の厳しい業績や今後の事業展開等を勘案し、誠に遺憾ではございますが、当中間期の配当は見送りとさせていただきます。

期末配当につきましては、経営環境の先行きが依然として不透明であることから、現時点では未定とさせていただきますが、業績動向等を踏まえ、改めて公表させていただきます。

業績の早期回復にグループ一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

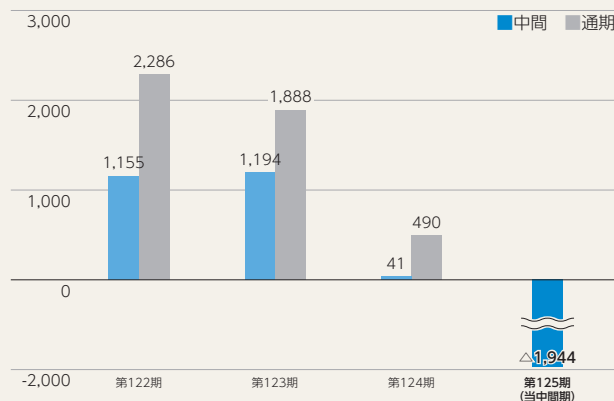
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

(単位：百万円)





Q1. 社長就任にあたり、抱負をお聞かせください。

入社以来、開発畑を歩んでまいりまして、当社のコア技術であるトライボロジー分野の数多くの製品、技術発展の一翼を担ってまいりました。今回、このような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。創業者の鈴木友訓の技術者としての熱い思いとその精神に感銘を受け、当社の経営理念の礎となった遺訓「技術の尊重と社会奉仕」を継承し、付加価値の高い製品を提供し続けるとともに、サステナブルな社会の実現に向けて貢献してまいりたいと思います。

Q2. 既存の事業についてお聞かせください。

自動車業界におきましては、CASEの動きに代表される100年に一度の大変革期にあり、その変化に素早く対応するため、10月1日付で機構改革を実施しました。当社の長年の歴史で培ってきた技術やノウハウをお客様の困りごとに最適なソリューションを提供できるよう、営業と製品技術エンジニアを合体させた開発営業部門を新設し、技術提案型企業の最前線と位置付け、従来以上にマーケティング、市場開拓、プロジェクト開発等を積極的に進めてまいります。

製品開発におきましては、現在、研究レベルで技術確立している熱効率50%のエンジンの量産化を実現するために、DLC (Diamond Like Carbon) でコーティングされたピストンリング等、環境対応型製品の開発を行っております。今後もエンジン軽量化や耐摩耗性、熱伝導性、高靱性等の機能要求に応える差別化された製品を低コストで産み出す努力を継続し、環境負荷の低減を含む社会のニーズに応える貢献をしてまいります。

Q3. 「新製品事業」について詳しくお願いします。

当社がこれまで培ってきたコア技術を駆使しつつ、かつオープンイノベーションの取り組みを通じて、社内外の技術の融合を図り、非自動車エンジン部品の3つの分野に注力しております。

一つ目は、メタモールド製品です。次世代自動車においては、自動運転や電動化の開発が進んでおり、操舵系や駆動系関連の部品について、当社のメタモールド製品が多数の引き合いを受けております。

二つ目は、モーターコアです。当社の粉末冶金技術を応用して、アキシシャルギャップ型のオリジナルモータを製作しております。扁平形状や高トルクが特長であり、農業用ロボットやAGVの駆動用としての採用を目指しております。

三つ目は、Ti-Ta合金 (NiFreeT) を用いた医療用部材です。この材料はX線視認性、生体適合性が高く、その特長を活かして長期体内留置部品を開発し、量産化試験へ移行しております。また、市場開拓におきましては、本年9月より米国Radiation Products Design Inc.社の日本国内総代理店として放射線科医療機器の輸入販売を開始し、病院と共同でドクターのニーズに応えた製品を展開してまいります。

最後になりますが、現在10年後のNPRグループのありたい姿を描く「The Next NPR 2030」を策定しております。その将来像からバックキャストして2021年からはじまる第八次中期経営計画を立案し、全従業員が一丸となり、企業価値の向上に精一杯努めてまいります。

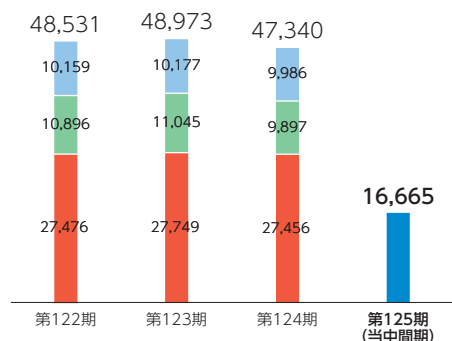
セグメント別事業概要

自動車 関連製品 事業

(売上高構成比)
84.9%

売上高の推移

(単位: 百万円)



自動車関連製品事業は、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中の自動車メーカーに減産の影響を与えたことから売上高は166億65百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

ピストンリング **9,842**百万円(▲26.8%)

バルブシート **3,219**百万円(▲36.4%)

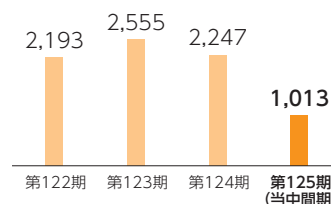
その他自動車
関連製品 **3,603**百万円(▲26.6%)

舶用・ その他の 製品事業

(売上高構成比)
5.2%

売上高の推移

(単位: 百万円)



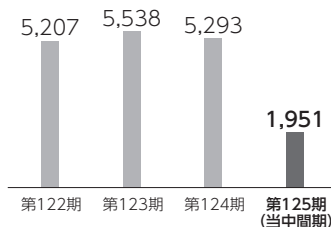
舶用・その他の製品事業は、産業機械向け製品等の需要減少により、売上高は10億13百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

その他

(売上高構成比)
9.9%

売上高の推移

(単位: 百万円)



商品等の販売事業を含むその他の売上高は、19億51百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

売上高
196億29百万円
(前年同期比28.0%減)

連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	前期末 2020年3月31日現在	当中間期末 2020年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	27,623	25,655
固定資産	35,985	35,596
有形固定資産	29,638	29,001
無形固定資産	867	915
投資その他の資産	5,479	5,679
資産合計	63,608	61,251
(負債の部)		
流動負債	22,050	19,060
固定負債	10,269	14,018
負債合計	32,319	33,078
(純資産の部)		
株主資本	29,950	27,469
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	6,080	6,080
利益剰余金	14,554	12,148
自己株式	△524	△599
その他の包括利益累計額	△123	△702
新株予約権	116	67
非支配株主持分	1,345	1,338
純資産合計	31,289	28,172
負債・純資産合計	63,608	61,251

■ 中間連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前中間期 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当中間期 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
売上高	27,264	19,629
売上原価	21,938	16,903
売上総利益	5,325	2,725
販売費及び一般管理費	4,973	4,213
営業利益又は営業損失 (△)	352	△1,487
営業外収益	254	466
営業外費用	267	229
経常利益又は経常損失 (△)	339	△1,249
特別利益	137	—
税金等調整前中間純利益又は純損失 (△)	476	△1,249
法人税、住民税及び事業税	329	181
法人税等調整額	71	478
中間純利益又は純損失 (△)	75	△1,909
非支配株主に帰属する中間純利益	34	34
親会社株主に帰属する中間純利益又は純損失 (△)	41	△1,944

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前中間期 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当中間期 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,260	△870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,165	△2,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△748	3,316
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	△88
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△714	163
現金及び現金同等物の期首残高	4,386	3,514
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,671	3,678

(注) 各連結財務諸表の詳細につきましては、当社ホームページ掲載の決算短信をご覧ください。(ホームページアドレスは裏表紙ご参照)

■ 会社の概要

商号	日本ピストンリング株式会社
本社所在地	埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
設立	1934年(昭和9年)12月20日
資本金	98億39百万円
従業員数	連結:2,961名 個別:680名
主な事業内容	ピストンリング、バルブシートをはじめとした国内外の自動車関連製品・陸船エンジン用組付・補修部品ならびにその他各種部品の製造・販売

■ 株式の状況

発行可能株式総数	19,545,000株
発行済株式の総数	8,374,157株
株主数	8,642名

■ 株式分布状況



■ 役員

取締役社長	高橋 輝夫	上席執行役員	津田 信徳
常務取締役	坂本 裕司	執行役員	小川 義孝
取締役	藤田 雅章	執行役員	小野寺義男
取締役	楊 忠亮	執行役員	犬塚 秀昭
取締役	奈良 暢泰	執行役員	西牟田英樹
取締役	梶原 誠人	執行役員	岸谷 隆雄
取締役	南雲 良介	執行役員	張籠 隆行
取締役	石井 歓	執行役員	津原 直浩
取締役	中沢ひろみ		
常勤監査役	平石 巖		
常勤監査役	越場 裕人		
監査役	高井 治		
監査役	木村 博紀		
監査役	日野 義英		

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	456	5.72
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	391	4.90
トヨタ自動車株式会社	268	3.36
朝日生命保険相互会社	259	3.25
日本ピストンリング持株会	222	2.79
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	187	2.35
株式会社新生銀行	165	2.07
東京海上日動火災保険株式会社	157	1.97
日ピス協力企業持株会	154	1.94
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	150	1.88

(注) 1. 自己株式(390千株)は上記記載から除いております。
2. 持株比率は自己株式(390千株)を除いて計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.npr.co.jp/ ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。

お知らせ (ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社ホームページのご紹介



会社案内、製品紹介をはじめ、最新のIR情報、技術情報、環境への取り組み状況等を適時掲載しております。

<https://www.npr.co.jp/>



日本ピストンリング株式会社

〒338-8503 埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
TEL. 048-856-5011 FAX. 048-856-5035 <https://www.npr.co.jp/>

